

(別紙5)

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-440

補助事業名 平成23年度(復興支援)被災地域の記録、調査活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人レスキューストックヤード

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東日本大震災の被災地支援活動の一環としておこなった支援物資のセット化(通称「うるうるパック」プロジェクト)の経験を基に、より被災者のニーズに沿った物資をスムーズに集約、梱包、配送ができるようなマニュアルを作成し、次の災害時に活用する。



2011年5月に名古屋大学でおこなった支援物資のセット化作業(「うるうるパック」プロジェクト)

(2) 実施内容

「3・11から1年」をはさむ2月から5月にかけて、東北へ物資を提供した企業、卸業者から中間支援NPO、ボランティア、被災地の行政関係者、そして被災者まで、それぞれの立場から物資支援について率直な意見を聞かせていただくヒアリングを重ねた。マニュアルの作成途中では、それが実効性のあるものかどうかを検証するための簡単なテスト作業を名古屋で協力者を募っておこなった。

最終成果物として完成させたマニュアルは当法人のホームページで公表後、初版として70部を印刷。本報告書とともに関係者に送り届けることにした。マニュアルは「初版」という位置づけで、今後、多くの方のご意見を聞きながら改訂を重ね、よりよいマニュアルにしていきたい。

支援物資セット化マニュアル

—被災者とモノを通じてココロを通わせる方法—

はじめに

第一章 セット作業の考え方

第二章 支援物資セット化を計画する

第三章 セット作業を準備する

第四章 セット作業に取り掛かる

第五章 後かたづけも忘れずに

第六章 支援物資を送る

第七章 セット化が難しい場合の工夫

第八章 個別ニーズに対応した物資の支援

おわりに

巻末資料



特定非営利活動法人レスキューストックヤード
<http://rsy-nagoya.com/>

このマニュアル作成事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>



宮城県七ヶ浜町の被災者からのヒアリング



物資セット化のテスト作業

2. 予想される事業実施効果

マニュアルは今後、同じような物資支援をしたいボランティアや団体に向けて、写真や図を多く用いてまとめた。物資支援はモノを送ることだけが目的ではなく、それを通して被災者の状況を把握したり、ボランティアとの交流を深めたりするツールとしてほしいというわれわれなりのメッセージを強調した。今後はこのマニュアルを活用し、安全な作業環境の下、より効果的で被災者のニーズに合った物資支援が広まることが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

A4版オールカラー24ページの「支援物資セット化マニュアルー被災者とモノを通じてココロを通わせる方法ー」、本事業のヒアリング結果、テスト作業などの詳細を記した報告書

作成した支援物資セット化マニュアル

ホームページリンク=<http://rsy-nagoya.com/web/bosyu/sizai>

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：特定非営利活動法人レスキューストックヤード（トクテイヒエイリカツドウホウジン レスキューストックヤード）

住所：461-0001

名古屋市東区泉 1-13-34 名建協 2階

代表者：代表理事・栗田暢之（クリタノブユキ）

担当者名：事務局スタッフ・関口威人（セキグチタケト）

電話番号：052-253-7550

FAX：052-253-7552

E-mail：info@rsy-nagoya.com

URL：<http://rsy-nagoya.com>